

受講料無料

マルチIoT・AIエンジニア科

5ヶ月で最先端のソフト開発 実践的な制御技術を身につける!

令和3年
5月19日(水)
開講

受講の特典

一定の要件を満たす方は「職業訓練受講給付金」月額10万円+「通所手当」の支給を受けることができます。支給には要件がありますので、詳しくは住居所を管轄するハローワークまでお問い合わせください。

募集期間 / 令和3年 **2月19日**(金) ~ 令和3年 **4月20日**(火)

実施場所	株式会社アシストエンジニアリング研修センター (〒400-0855 山梨県甲府市中小河原 1-14-18)
定員	15名
選考日	令和3年4月26日(月)
選考結果通知日	令和3年4月30日(金)
訓練期間	令和3年5月19日(水) ~ 令和3年10月18日(月) (土日祝日・お盆休み・その他休みあり)
訓練時間	9:30~16:10
応募資格	ハローワークに求職申し込みをしている方。 キーボード操作、ファイル操作ができる方。
別途テキスト代	¥16,489(税込) ※開講日に徴収させていただきます。
申込窓口	住居所を管轄するハローワークの職業訓練相談窓口 ※応募者が募集定員の半数に満たない場合は、訓練の実施を中止することがあります。

さらに資格取得も応援します!

※資格取得は任意です(別途料金)。



- C言語プログラミング能力認定試験 2級
- Java™プログラミング能力認定試験 2級
- AI検定*
- 実践プログラミング技術者試験 Gold (Level 4)



この訓練は、就職を目的とした厚生労働大臣認定の公的職業訓練です。

ハローワーク
お申し込み方法

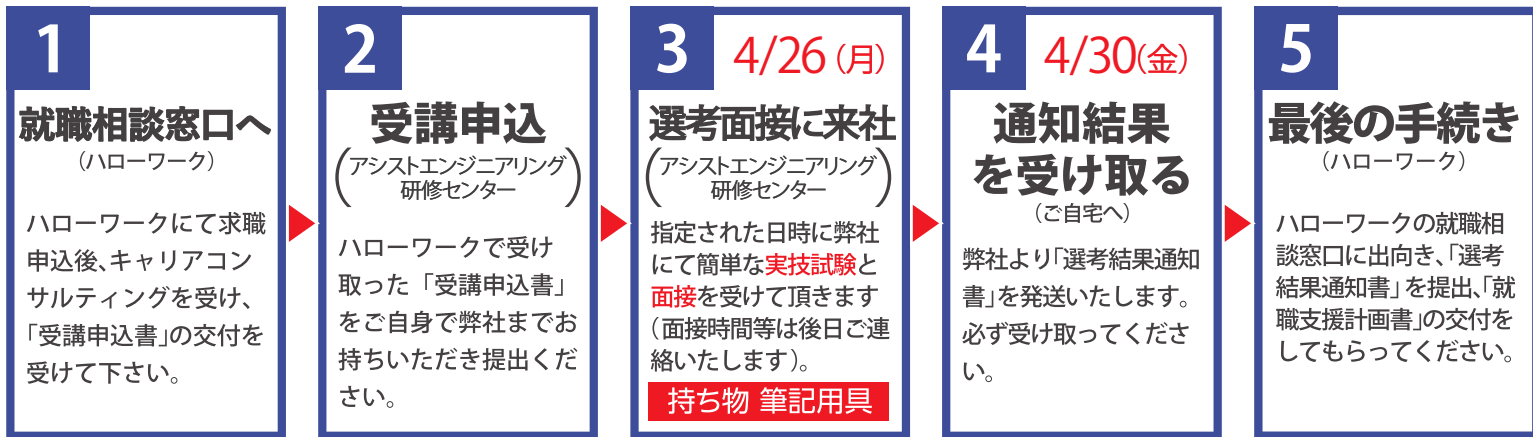
お申し込み方法は、住居所を管轄するハローワークまでお問い合わせください。

055-267-6162

【受付時間】平日9:00~18:00 (担当) 齊藤

応募方法は
裏面に
ございます。





6 訓練開始 (アシストエンジニアリング)必要書類を持参して、訓練開始です。

訓練科名 マルチIoT・AIエンジニア科

訓練期間 令和3年5月19日(水)～令和3年10月18日(月) / 5ヶ月(90日)

訓練概要 プログラマーとしての基礎知識及びシステム開発の技能・技術を習得する。IoTプログラミングとして言語(C・Java)の基礎や活用、SQLの理解と応用、加えてPythonを用い人工知能プログラミングへの導入のための知識等を習得する。

訓練内容 訓練時間総合計 **520 時間** (学科**167** 時間、実技**347** 時間、職業人講話 **6** 時間)

科 目	科目の内容	訓練時間	
学 科	安全衛生	心身の健康管理(VDT含む)、整理整頓の原則、安全衛生の事例	2 時間
	情報リテラシー	IT化社会の問題点と対応方法(セキュリティと利便性の関係、サイバー攻撃と事件から見る事例、情報セキュリティ対策と情報元の確保)	3 時間
	AIの基礎理論	機械学習の基礎知識、アルゴリズム理解、プログラム知識、数学的思考(微分・積分・行列式)、統計指標の理解(ヒストグラム・散布図・線形回帰・クラスタリング)	42 時間
	データベース基礎理論	データベース構築に必要な基本用語の理解、活用事例やその方法、最適化	42 時間
	IoTプログラミング基礎知識	組込みプログラム言語の基礎知識(使用言語: Java/C/C++)	60 時間
実 技	就職支援	応募書類を作成する意義、履歴書・職務経歴書のポイント、志望動機・自己アピールの重要性、送付の際の留意点 面接の目的と採用者の評価ポイント、面接の準備とマナー	18 時間
	PC基本操作実習	汎用性の高い、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの設定や操作、デザイン(図形や効果文字)などを駆使しプレゼンテーション資料の作成(使用ソフト: Microsoft Office 365)	48 時間
	AIの基礎実習	開発手順・操作、基本命令等のロジック構築(使用ソフト: Scratch)	30 時間
	データベース基礎実習	データベースの基本(環境設定・利用・応用・SQL)を理解し構築する。データベースとPythonの連携等	24 時間
	IoTプログラミング実習	IoT機材の取り扱い方法実習(使用機器: Arduino)とセンシング実習、IoT機器へ組込みプログラミングの実習(使用言語: Java/C/C++)	90 時間
	AIへの応用実習	機械学習へのプログラミング実装(環境作成・操作)(使用機器: RaspberryPi)	30 時間
	AIプログラミング導入実習	Python環境設定、制御構造、ライブラリの利用、関数の利用等についての機能を理解し実装実習(使用言語: Python)	54 時間
	総合開発演習	与えられた問題を踏まえ、AIを用いたシステム開発を行い、課題解決演習(設計、組込み、テスト、成果発表、振り返り、工程管理までの一連の作業)	71 時間
職業人講話	「これからの時代に求められる人材とは?」「AI・IoT制作の現場から」をテーマにした現役企業人講話	6 時間	

プログラマーとしてシステム開発業務のできる人材を目指す。またこれからのICT業界で必要になるAIやSQL・IoTプログラミングについての知識を習得し、導入から実現へ貢献できる技術者を目指す。

目指す業界・職種

システム開発プログラマー、AI エンジニア、IoT エンジニア